

ヤチキ沢 2016年7月17日
メンバー ; L谷内、宮坂、久保、高橋

南アルプス北部白州の神宮川支流ヤチキ沢に行ってきました。以前、氷瀑で何度か訪れていた所ですが、夏の沢は初めてで花崗岩からなる山域であり崩壊具合が心配でしたがそこそこコンパクトに楽しめ下降路にとった北東尾根のルートファインディングもいいトレーニングとなりました。

行動記録

天候 ; くもり

AM6時茅野発・6:40 車止めゲート前駐車～6:55 発・7:03 入渓・小滝をいくつか越し沢すじが右手に直角に曲がり細いナメを登ると F1H10。右手を直登するが抜け口がやや強引な木登りとなる - F2H30 ナメ滝はややぬめり気味 - F2 上で小さな二股となり藪っぽい右俣へ - F3 二段 H10 は上部抜け口手前が微妙そうなのと、もろシャワーになりそうなので右岸を高巻く。すぐに F4H10 となるが上部トイ状はやや微妙なバランスを要した。この上で源頭の様相を呈し沢は終了とし左手尾根上に逃げ足回りをはき替え大休止 (標高 1400m、AM9 時)。けもの道をほぼ水平トラバース気味に何本かのガレを横切り 10:30 北東尾根に乗る。わずかの古いペナントと不明瞭な踏み跡をたよりに 11:10 日向山着。多くのハイカーの中違和感を感じつつ大休止の後 11:30 下山。所々尾根が広がっているため下降は要注意である。踏み換え点の 1240m あたりはわりと明瞭に認識でき小さなテープが 2 本巻かれていた。その後ほぼ北に下降し 1120m 地点で北西に分かれる。砂礫斜面の下降となり安全をきし何度かの懸垂下降をへて最後の岩壁帯を避けるべく右手に逃げ降りゲート直上に 14:10 無事下山す。